

## 【院長挨拶】

今年の梅雨入りは記録的な遅さで、梅雨明け前後の集中豪雨なども懸念されるところです。さて医療の世界でも、「働き方改革」に焦点が当てられ、コメディカルにおいては本年4月から様々な制度が義務化され実施されています。医師においても長時間労働の是正や残業時間の見直し、有休の適正な取得など、これから5年間の猶予はあるというもの、早急に取り組んで行かねばなりません。



一方で日本全体では人口減少による労働力不足が叫ばれる中、質の高い効率的な働き方が求められています。まずは仕事の「on」と「off」を意識し、「on」に集中するのが基本のような気がします。

さて秋からは懸案であったMRIが3テスラに更新され、画質の改善、診断の向上が期待されます。さらに院内へのコンビニ導入、食堂のリニューアルのため、9月下旬から10月初旬にかけて、工事期間中は患者さんや職員さんにご迷惑をお掛けします。また病院のホームページを一新して今年度中にリリースする予定で、現在進めているところです。日々の進捗はわずかかもしれませんが、ひとつひとつの課題に、継続して、前向きに取り組んでいきたいと考えます。

寺柿 政和

## 【第2回 緩和ケア研修会 ～ The PEACE project ～実施】

当院主催の「緩和ケア研修会」を下記日程で実施いたしました。これは、がん疼痛などの身体症状と精神症状に対する緩和ケア、コミュニケーションの知識、技能を学び実施できるように、講義・ワークショップ・ロールプレイのプログラムから構成されており、緩和ケアの基礎を学ぶことができる研修会です。すべてのプログラムを修了した医師には厚生労働省、コメディカルには大阪府より修了証が授与されます。

日時 2019年7月20日(土)  
場所 東住吉森本病院 6階講堂  
内容 緩和ケア研修会  
対象 すべての医療従事者



第2回 東住吉森本病院  
緩和ケア研修会



## 【第8回 大阪市南部地区医療講演会のお知らせ】

毎年恒例の標記医療講演会を下記日程で行います。

日時：2019年11月30日(土) 17:30～

開場：天王寺都ホテル 6階 吉野の間

場所：大阪府大阪市阿倍野区松崎町 1-2-8

※大阪府医師会生涯研修単位の申請を予定しています。

※講演終了後に懇親の場をご用意しております。



カテーテル治療は、日進月歩ですが、冠動脈疾患治療に追いつこうと末梢血管に対する治療用具の進歩もめざましく、今回は、臨床現場で使用可能な新しい治療用具に関して紹介します。

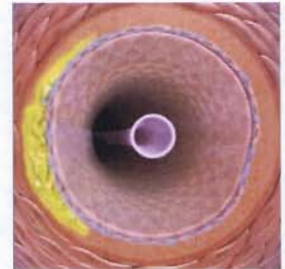
下肢の閉塞性動脈硬化症の中でも浅大腿動脈領域の治療では、元々バルン拡張後の再狭窄抑制目的で金属ステントを留置することが大半でした。しかし、浅大腿動脈はその複雑な動きから、ステント断裂や再狭窄しやすい病変があり、保険適用後7年経過した末梢血管用薬物溶出ステントが、ステント再狭窄病変へ使用され、再々狭窄抑制に一定の役割を果たしてきました。しかし、ステントが二重になるため3回目の再狭窄時には、外科的治療の検討も必要になります。そもそも、バルン拡張後にステント留置せずに再狭窄率を下げることができれば、より治療の幅が広がります。

昨年、保険適用になった薬物溶出バルンは、諸外国ではステント再狭窄への使用も可能ですが、本邦においては新規病変で通常のバルン拡張での血管解離がひどくない時に使用でき、ステント無しで再狭窄率を低下させる治療用具として注目されています。当科でも可能な病変は、積極的に使用しています。

また、今後、ステントを二重になることを避けるために、本邦でもステント再狭窄病変への適応拡大が待たれます。



血管内で折りたたまれた状態のバルン



血管内で拡張した状態のバルン



拡張後、バルン表面より薬剤が溶出し血管壁へ送達・浸透される。(拡大図)

## 形成外科医師就任の挨拶

形成外科 伊丹さやか

このたび形成外科医員として着任致しました伊丹さやかと申します。平成30年に大阪医科大学形成外科に入局し、この4月から東住吉森本病院にて診療部顧問の辻口と2名体制で診療を行っています。

当科が扱う疾患と致しましては、

- ①保存的・手術加療を要する熱傷やその傷跡の修正、
- ②顔面骨骨折・顔面外傷、
- ③手足の外傷や巻き爪、
- ④口唇・口蓋裂、
- ⑤眼瞼下垂、副耳・耳瘻孔、出べそ、多合趾症などの先天異常、
- ⑥母斑・血管腫・良性腫瘍など、
- ⑦悪性腫瘍やその再建、
- ⑧瘢痕・拘縮・ケロイドなどの傷跡の修正、
- ⑨難治性潰瘍や床ずれの治療、
- ⑩二重瞼やしみ・しわとりといった美容外科（当院では原則として美容外科手術は行っていないですが、お気軽にご相談下さい。）などが挙げられます。



以上のように、多岐にわたる疾患に対して保存的もしくは手術加療を行っています。地域の先生方にはお気軽にご紹介いただければと思います。地域医療に貢献できるように尽力致しますので、今後とも宜しくお願い致します。

日時：2019年6月27日（木）

18時00分～19時30分

場所：東住吉森本病院 6階食堂

テーマ：緩和ケア・症状緩和の基礎知識



講師：川合淳郎先生（川合内科・小児科 副院長、日本緩和医療学会緩和医療認定医）

対象：東住吉区及び近隣区の医療・介護従事者 主催：東住吉森本病院 地域医療連携センター

共催：東住吉森本病院 緩和ケア委員会

在宅緩和ケアの支援者が、専門的な知識と技術を定期的に習得することで緩和ケアを必要としている市民へ適切なケア提供ができるようになり、さらにはシームレスな連携へ繋げることを目的として、当院の地域医療連携センターが主催となり、緩和ケア委員会も協力し開催しました。今回、G20サミットと悪天候が重なる中での初開催となりましたが、訪問看護師、ケアマネージャー、訪問介護士など、当院スタッフも含め総勢60名もの方々にご参加いただきました。前半は疼痛マネジメントの講義、後半は「いま困っていること」をテーマにグループワークを行い、疼痛マネジメントについて学んだ上で活発な意見交換ができ盛況のうちに終わりました。今後も定期的に4回/年（6月・9月・12月・3月）に開催できればと考えています。

【連載 no.15】 感染対策研修の必要性 ～適切な感染対策を行うために～ 感染防止対策室 室長 荻田 千歌

平成18年6月に医療法が改正され、病院、診療所又は助産所の管理者は医療の安全を確保するための指針の策定、職員に対する研修の実施など、医療安全確保が義務付けられ、医療施設内における感染制御体制の整備が必要となりました。

適切な感染管理を行うには、院内の職員が共通の認識を持ち、感染対策を実践することが大切です。職員に対する研修については、就職時の初期研修、就職後の継続研修、ラウンド等による個別研修の3種類の研修があります。就職後の継続研修は年2回程度の開催が望ましく、感染対策の基本的知識や最新の情報、実践的技術を学ぶことが大切です。研修の内容は自由ですが各施設の実情に則した内容で、職種横断的に開催することとされています。

当院でも適切な感染対策を実践するために、様々な研修を開催しています。特に、デモンストレーションやクイズを取り入れた研修が好評です。今年度より感染管理認定看護師による「出前研修」の取り組みも始めましたので、ご興味のある方はぜひお知らせください。

出前研修の申し込み・ご相談 宛先

医療法人橘会 東住吉森本病院 感染防止対策室 荻田 まで

☎：infection@tachibana-med.or.jp

**「感染対策出前研修」**  
はじめました！

感染対策に関する研修は是非お申し込みください！  
感染対策に関する研修や、感染対策に関することについて専門的な観点で質問にお答えいたします。  
お気軽にお申し込みください！

研修の申し込み・ご相談 宛先  
医療法人橘会 東住吉森本病院  
感染防止対策室 荻田 infection@tachibana-med.or.jp

- 手洗いや消毒のこと
- 新技術の感染対策
- 抗菌薬の対策
- ノロウイルス対策
- インフルエンザ対策
- 物品の消毒・管理
- 職員の健康管理

感染対策に関する  
ことであれば何でも  
OKです！！

## 【ストーマ交流会】

実施日：2019年6月14日（金）14：30～16：00

場 所：東住吉森本病院 6F 講堂

当院の外科医師と皮膚・排泄ケア認定看護師を中心にメーカーも交えたストーマ交流会。この交流会は、一般患者さんを対象とした会でストーマに関する相談や情報交換が活発に行われました。



## 【EMEC ～救急初期診療トレーニング・コース】

日 時：2019年6月15日（土）8：30～13：00

場 所：東住吉森本病院 6階 講堂

EMEC (Emergency Medical Evaluation and Care) は、内因性救急患者に対する診療手法を習得するために、米国の Advanced Medical Life Support を参考に大阪市立大学医学部附属病院・救急救命センターが開発した教育コースで、救急外来におけるスタッフのパフォーマンス向上を目的としています。

今回は、当院の救急看護師、臨床研修医を対象に同大学病院の先生方をお招きして実施させていただきました。参加した研修医からは、“すぐに役立つ実践的な講習でとてもよかった。講習直後のERでの研修中に「意識障害」の症例があり、おちついて対応できた”という意見もあり、有意義なトレーニングとなりました。



## 【第22回 東住吉ハートカンファレンス】

日 時：2019年7月18日（木）18：50～21：00

場 所：スイスホテル南海大阪 7F『芙蓉の間』

開会の辞

東住吉森本病院 院長 寺柿 政和

パネルディスカッション《テーマ：心不全》

【司会】いたがねファミリークリニック 院長 板金 広先生

東住吉森本病院 循環器内科 院長 宮崎 知奈美

〈ディスカッション1〉 東住吉森本病院 循環器内科 山本 崇之

〈ディスカッション2〉 池淵クリニック 院長 池淵 元祥 先生

基調講演

【座長】東住吉森本病院 循環器内科 部長 坂上 祐司

「積極的治療と融合する心不全の緩和ケア」

姫路循環器病センター 循環器内科 医長 大石 醒悟先生

特別講演

「心不全のトータルケア」

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 心不全科

部長 泉 知里先生



## ■ 病院理念 ■

1. 患者さんの立場に立った、対話のある医療を提供するために努力します。
2. 地域医療施設との連携を深め、地域医療に貢献するために努力します。
3. より良い患者サービスをするために、働きがいのある職場環境の改善・維持に努めます。

## ■ 基本方針 ■

1. 「患者参加型」の安全で質の高い医療を提供します。
2. 地域完結型の医療サービスを提供します。
3. 地域の予防医療の啓蒙に貢献します。
4. 自己実現が出来る職場環境の確保を目指します。

## ■ 患者さんの権利 ■

1. 個人の尊厳の保持
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 十分な説明を受ける権利
4. 検査・治療を自ら決定する権利
5. 医療について知る権利
6. プライバシーの保護
7. セカンドオピニオンを受ける権利

## 東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ  
(地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス：m\_chiiki@tachibana-med.or.jp

電話：0120-65-0343 FAX：0120-10-5260

【受付時間】 平 日 9：00～20：00

土曜日 9：00～17：00

地域医療連携センター長 坂上 祐司

副センター長 井内 郁代

\*東住吉森本病院のホームページでも情報が日々更新されております。 <https://www.tachibana-med.or.jp>